

平成29年度 家庭教育学級 活動反省記録

原 山 幼稚園・小学校・中学校

※工夫したことや改善すべき点などを簡条書にてご記入ください。

<運営面から>

- ・家庭教育学級委員の保護者の方々と、何をしようかと相談しながら運営した。特に調理実習の参加はけっこう多くて、よかったと思う。
- ・講師の方の講師料や、1回にかかる費用の目安を家庭教育学級の手引きに掲載しておいていただけるとありがたい。費用は実際に電話してみないとわからないので、計画する時に困った。ある程度このくらいの費用ならば・・・が読めないと、計画ができない。やはり一人あたり1000円を越すようだと、なかなか家庭教育学級に人は集まらないかと思う。
- ・高校訪問等を企画した場合、市バスは使用できるのか教えていただきたいと思う。印旛明誠・白井・成田国際高や八千代松陰・千葉英和高など、市バスで行くことは可能か？

<学習面から>

- ・第3回「ハロウィンのおかし作り教室」・第4回「おいしいコーヒーの入れ方」の調理実習は大変好評で、参加者も多かった。私も勉強になった。
- ・第5回「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」では、学級生の中から「ぜひ学校でこのDVDを子どもに見せて考えさせてほしい」という要望があがった。学級の時間を使って見せたいが、DVDが1枚しかないとのことで、できれば3枚は準備していただけるとありがたい。
- ・第1回「思春期の中学生の心理」はスクールカウンセラーに講師を務めていただいた。各家庭でも悩んだことのある内容であり、保護者は関心を持って参加したと思う。初回にふさわしい内容であった。

<その他>

- ・学級委員の方6名で、記録のまとめや会議の参加などの役割を分担し、比較的負担を少なく運営することができた。
- ・学級委員長が毎回名札を作成して持参してくれ、お互いの面識が無くとも参加した保護者の方がお互い誰だかわかってよかった。大変助かった。
- ・予算を材料費の一部に使えるようになるとありがたい。細かな端数の金額を集めて両替し、講師の方にお渡しするのはけっこうな手間を感じる。検討いただきたい。